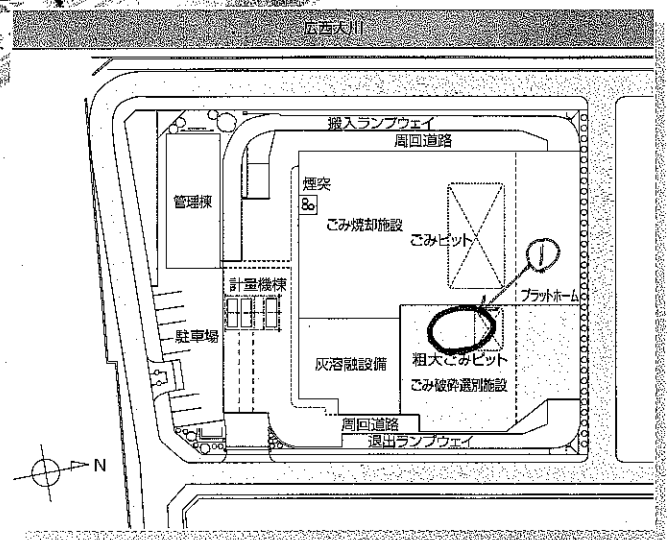


全体配置図



施設概要

名称	クリーンセンターくれ	
所在地	広島県呉市広多賀谷3丁目9番2号	
建物の規模		
敷地面積	12,283 m <sup>2</sup>	
工場棟	19,364 m <sup>2</sup>	
管理棟	1,509 m <sup>2</sup>	
計量機棟	159 m <sup>2</sup>	
煙突高さ	59 m	
施設規模		
ごみ焼却施設	全連続式 流動床炉	380 t / 日 (126.8t/日×3炉)
	アーク式 灰溶融炉	33 t / 日
	発電出力	7,000 kW
破砕選別施設	2軸及び回転式破砕機 (4種機械選別式)	55 t / 日
処理区域 (計画時)	1市8町 (呉市、江田島町、下蒲刈町、蒲刈町、能美町、 沖美町、大柿町、安浦町、川尻町)	

公害防止基準

最新の高度な技術を採用することにより、法令に基づく規制値よりも一層強化した自主規制基準値を設定しております。

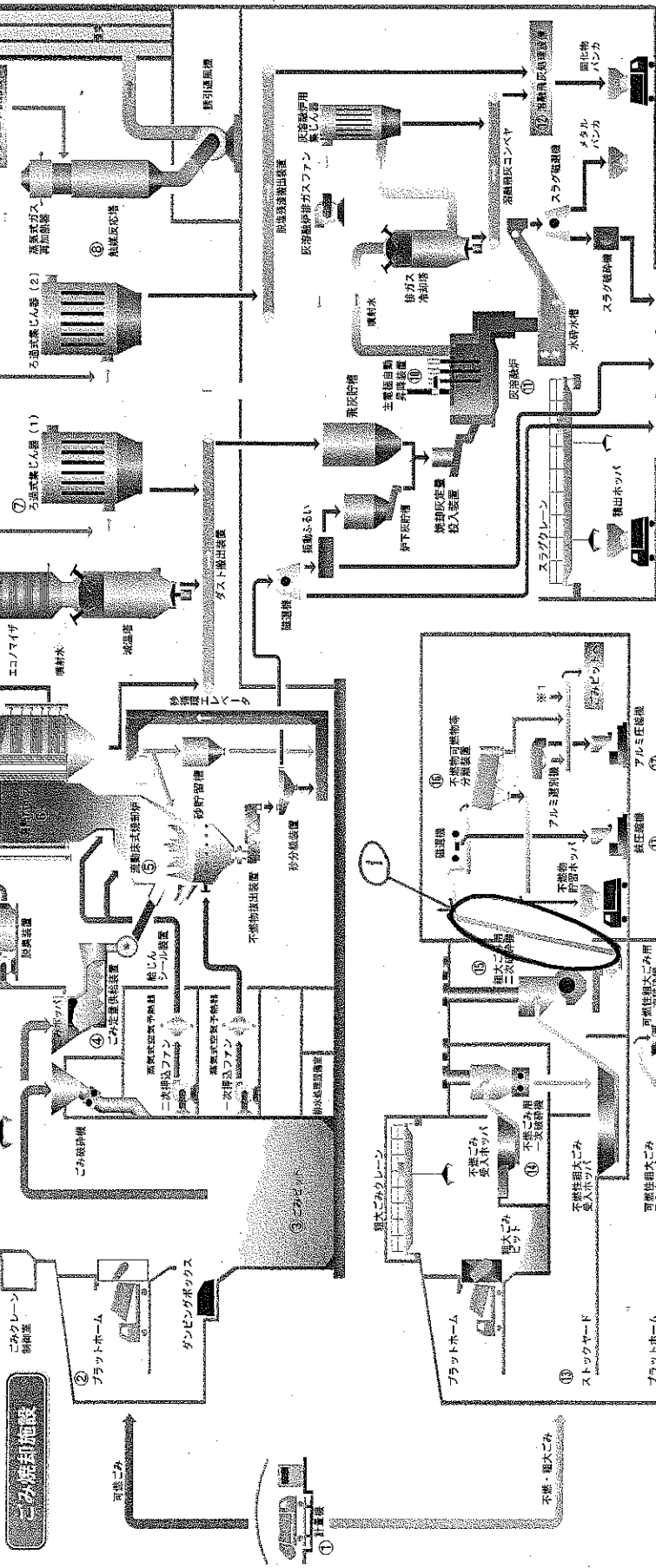
項目	法令に基づく規制値	自主規制基準値	
大気質	硫黄酸化物	K値=5	K値=0.17(20ppm以下)
	窒素酸化物	250 ppm以下	50 ppm以下
	ばいじん	0.04 g/m <sup>3</sup> (N)以下	0.01 g/m <sup>3</sup> (N)以下
	粉じん (ごみ破砕選別)	—	0.01 g/m <sup>3</sup> (N)以下
	塩化水素	700 mg/m <sup>3</sup> (N)以下	80 mg/m <sup>3</sup> (N)以下
	水銀	—	0.05 mg/m <sup>3</sup> (N)以下
騒音	ダイオキシン類	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> (N)	0.05 ng-TEQ/m <sup>3</sup> (N)
	午前6時～午後10時	70 dB(A)以下	60 dB(A)以下
振動	午後10時～午前6時	60 dB(A)以下	50 dB(A)以下
	全日	—	50 dB以下

# クリーンなごみ処理はこのようなようにして行われます

## 凡 例

- ごみの流れ
- 空気の流れ
- 排ガスの流れ
- 蒸気の流れ
- 灰・不燃物の流れ
- 水・薬品の流れ
- 不燃・燃焼ごみの流れ

### ごみ焼却施設



### 不燃物分別施設

搬入された可燃ごみは計量後プラットホームからごみピットに投入されます。ごみピット内のごみは自動的にクレーンで選別・混合された後、ごみホッパに投入され、定量供給装置により流動式焼却炉へ送られます。

### 可燃物の流れ

燃焼用空気は、一次押込ファン及び二次押込ファンによりごみピットから吸引され、流動式焼却炉の流動化炉室と燃焼用空気として供給されます。

### 空気の流れ

焼却炉で発生する高温の燃焼ガスは、燃焼ボイラ及びエコノマイザで熱回収された後、凝縮器で規定の温度まで冷却されます。排ガスの中の有害物質は、2段のろ過式集じん器と排ガス冷却機で除去されクリーンなガスとして煙突から排出されます。

### 灰処理の流れ

燃焼ボイラで回収された蒸気は、蒸気タービン発電機で発電に利用されるほか、高圧内循環冷却器、湯冷まし装置にも利用されます。発電した電気は、施設内及び近接する市の施設で利用するとともに余剰電力は売電されます。

### 不燃物分別処理の流れ

炉底部の不燃物排出装置から取出された炉下灰は粉分装置で粉を回収された後、搬送機で粉分を除去されます。(1) 腐敗ボイラや湯沸し、ろ過式集じん器(1)で集められた灰やばいじんは炉下灰とともにアーク式灰処理炉で、約1300℃の高温で溶融処理されます。これにより焼却灰中に含まれるダイオキシン類は、分解除去され、焼却灰から発生する溶融飛灰となり、また、溶融炉から発生する溶融飛灰とろ過式集じん器(2)で捕集された燃焼灰は、薬品で処理され、安全な固化物として排出されます。

### 不燃物分別処理の流れ

収集された不燃・粗大ごみは、それぞれ粗大ごみピット、ストックヤードに搬入され一時貯留されます。粗大ごみは、ストックヤードやコンピングボックスで処理不燃物を取り除かれた後、燃焼ボイラや湯沸し、ろ過式集じん器(1)で集められた灰やばいじんは炉下灰とともにアーク式灰処理炉で、約1300℃の高温で溶融処理されます。これにより焼却灰中に含まれるダイオキシン類は、分解除去され、焼却灰から発生する溶融飛灰となり、また、溶融炉から発生する溶融飛灰とろ過式集じん器(2)で捕集された燃焼灰は、薬品で処理され、安全な固化物として排出されます。